

## 保険料の納付方法

保険料の納付方法は年金からの天引きで納める特別徴収と、納付書や口座振替で納める普通徴収の2種類があります。

特別徴収が原則ですが、年金の受給額が年額18万円未満の人や、介護保険料と後期高齢者医療保険料を合わせた1回当たりの徴収額が年金の1回当たりの支給額の2分の1を超える人などは、普通徴収となります。複数の年金を受給している場合は、受給額の多少に関わらず、年金保険者・年金種別による優先順位の高い一種類の年金から天引きの可否を判断します。

### ■特別徴収

保険料額決定通知書と、10月以降の年金支給月ごとの徴収額を記した納入通知書が送付されます。徴収月は偶数月で、年6回です。

10・12・来年2月の年金からの合計徴収額	＝	本年度保険料 平成25年中の所得を基礎とする本算定額	－	4・6・8月の年金からの徴収額 平成24年中の所得を基礎とする仮徴収額
-----------------------	---	-------------------------------	---	--

### ■普通徴収

保険料額決定通知書と、納期ごとの徴収額を記した納入通知書が送付されます。納期は7月から来年3月の末日(12月は25日)です。

納入通知書に納付書が付いていたら、お近くの金融機関でお支払いください。口座振替の手続きをした場合は、申請の翌月からの引き落としとなります。申請月の分は金融機関の窓口で納めてください。

### 年度途中で切り替わる場合は

年度途中で普通徴収から特別徴収へ切り替わることがあります。その場合、7月から9月は普通徴収、10月以降は特別徴収で納めることになります。

**対象** 昨年6月から今年5月までに75歳になるなど、津市で新たに後期高齢者医療制度の保険に加入した人

### ■保険料の納付方法の変更ができます

保険料の納付方法を特別徴収から普通徴収(口座振替に限る)に変更することができます。希望する人は保険医療助成課または各総合支所市民福祉課(市民課)へ申請してください。10月分から変更する人は、7月25日(金)までに手続きをしてください。それ以降は、申請の時期により変更時期が異なります。

**必要なもの** 保険医療助成課または各総合支所市民福祉課(市民課)にある納付方法変更申出書、印鑑、後期高齢者医療被保険者証、津市市税等口座振替依頼書の依頼者保管用の写し(事前に金融機関で後期高齢者医療保険料の口座振替の申し込みをして、本人の控えとしてもらうもの)

### 所得税と市民税・県民税の社会保険料控除

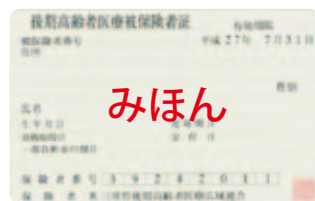
普通徴収(口座振替)に変更した場合、社会保険料控除は口座振替で保険料を支払った人に適用されます。これにより、世帯全体の所得税や住民税が減額になる場合があります。

## 保険料の減免、徴収猶予

災害に遭った場合や生活困窮により保険料の納付が著しく困難な人(おおむね生活保護の基準に準じる程度)は、申請により保険料の減免や徴収猶予を受けられる場合があります。詳しくは保険医療助成課(減免については後期高齢者医療担当 ☎229-3285、徴収猶予については保険担当 ☎229-3161)、または各総合支所市民福祉課(市民課)にご相談ください。

## 8月から保険証が若草色に

7月下旬に、三重県後期高齢者医療広域連合から新しい保険証(若草色)が簡易書留で送付されます。現在使っているピンク色の保険証は8月1日以降に、保険医療助成課または各総合支所市民福祉課(市民課)、各出張所に返却してください。



新しい保険証

## 後期高齢者健康診査の受診を

6月下旬から順次、三重県後期高齢者医療広域連合から受診券が発送されていますので、11月までに受診してください。5月～8月に被保険者になる人には、8月以降に順次受診券を送付します。

**自己負担額** 住民税課税世帯の人500円、住民税非課税世帯の人200円

※詳しくは、広報津6月16日号と同時配布の「平成26年度がん検診と健康診査のご案内」、または受診券に同封の案内文書をご確認ください。

### 問い合わせ

保険医療助成課 ☎229-3285

三重県後期高齢者医療広域連合 ☎221-6883